

課題：夏秋トマトを中核とする競争力の高い野菜産地の育成

【評価できる点】

- (1) トマトの生産規模拡大推進策として、多岐にわたる課題に精力的に取り組んだ結果、生産性・生産量向上で大きな成果を挙げており、高く評価できる。
- (2) 市場からの信頼の厚いトマトを、より競争力を高めるため、重点支援対象とした点。
- (3) 若手や新規農業者、担い手の定着支援など細かく指導し、トマトのブランド化に取り組んでいる。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望）】

- 1 課題や目標設定に関すること
 - (1) 活動指標にもう少し、客観的内容を設定すべきではないか。
 - (2) 障害果対策に関する到達目標を設定すべきではないか。
 - (3) 育苗自動かん水システムの導入は、全農家の何%なのかが解ると全体のイメージが解りやすい。
- 2 活動内容に関すること
 - (1) 今後、担い手の育成と確保を重点的に行っていくのは、具体的にどんな方法か。
 - (2) 今後、大玉トマトをブランド化し更なる品質向上と安定生産に努めて欲しい。
 - (3) 地域により条件が異なるため、画一的な栽培は難しいとのことなので、果実品質向上対策は、きめ細やかな活動手法、体制をとった方がよい。